



西会津小だより

10月号

No. 7

【教育目標】

めあてをもって、やりぬく
～みんなの学校、ちいきの学校、にしいづ小学校～

令和2年10月28(水)

文責：校長 博多弘泰

なすことによって学ぶ

[運動会]

特別活動(児童会活動・クラブ活動・学校行事)は、「なすことによって学ぶ」教育といわれ、体験的な学習が行われます。その中では、「個と個」や「個と集団」の関わりの中でよりよい人間関係を築こうとする力・よりよい集団をつくろうとする力・なりたい自分に向けて頑張る力を育成します。10月には、大きな学校行事として、3日(土)の運動会、8日(木)・9日(金)の修学旅行、9日(金)の遠足、26日(月)のマラソン記録会が行われました。

運動会では、競技をする人、応援する人、係の仕事をする人、みんなの心が一つになり、大空の下で思い出に残る運動会をつくり上げることができました。**修学旅行**では、事前に自分たちで作成した行程表をもとに、コロナ感染症対策をしっかりと行い、友達と協力しながら約5時間の仙台市内班別研修を行い、達成感を味わうことができました。**遠足**(1・2・3学年)では、秋の自然に親しみ、見学・体験学習を取り入れ、地域の様子や働く人々の様子などについて関心を高めることができました。**マラソン記録会**では、苦しくなったとき「もう少し、もう少し…」と自分の気持ちに負けないで、最後まで一生懸命走り抜き、自分の体力の限界に挑戦しました。これらの行事を通して体験から学んだこと、友達との触れ合いから学んだことなどを、今後の学校生活に生かせるように、支援していきたいと思えます。



[マラソン記録会]



[6年:班別研修]



[1年:お昼のお弁当]



[2年:お菓子工場見学]



[3年:絵ろうそく体験]

新型コロナウイルスに係るいじめ未然防止

今シーズンは、新型コロナウイルスとインフルエンザの同時流行が懸念されています。十分な対策をしても感染することはあります。誰もが、いつ、どこにいても感染のリスクを背負いながら生活しています。そのような中、新型コロナウイルスに感染した児童生徒に対する偏見やいじめが大きな問題になっています。感染により、身体的にも精神的にも弱っている友達を、さらに追い詰めるような言動は、人として絶対してはいけませんし、許されない行為です。

新型コロナウイルス感染症について、「正しく理解し、正しく恐れる」必要があり、学校での道徳教育が果たす役割は大きくなっています。どのようなことが人を傷つけるのか、子どもたちとともに考えながら、偏見による差別やいじめの根絶に向けた取組を行っていききたいと思います。そして、誰に対しても公正、公平に接する心情・態度を育てていききたいと思います。そのために、今後、各学年の発達段階に応じた「いじめ未然防止」の道徳科の授業を行っていきます。

引き続き
ご協力お願いします

- 登校にあたっては、マスクを着用させていただきますよう、ご協力をお願いします。
- 登校の際は、家庭で検温と健康観察を行い、「検温表」に記入の上、持参させてください。
- 発熱等の風邪症状がみられる場合には無理に登校せず、自宅で休養させてください。